



2021年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月14日

上場会社名 株式会社 リンガーハット
 コード番号 8200 URL <https://www.ringerhut.co.jp>

上場取引所 東 福

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 佐々野 諸延

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 小田 昌広

TEL 03-5745-8611

四半期報告書提出予定日 2020年10月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第2四半期の連結業績(2020年3月1日～2020年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第2四半期	16,141	32.1	3,594		3,741		6,984	
2020年2月期第2四半期	23,757	0.8	1,115	3.0	1,052	0.5	452	76.9

(注) 包括利益 2021年2月期第2四半期 7,033百万円 (%) 2020年2月期第2四半期 329百万円 (37.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第2四半期	280.54	
2020年2月期第2四半期	18.20	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期第2四半期	31,843	11,318	35.5	453.86
2020年2月期	33,717	18,471	54.7	741.29

(参考) 自己資本 2021年2月期第2四半期 11,299百万円 2020年2月期 18,452百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期		5.00		5.00	10.00
2021年2月期		0.00			
2021年2月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2021年2月期の期末配当につきましては「未定」とさせていただきます。

3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日～2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,400	29.4	5,600		5,700		8,700		349.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当予想は今後の新型コロナウイルス感染症の状況によっては大きく変動する可能性があります。今後、開示すべき重要な事項が発生した場合には、速やかに業績への影響を開示させていただきます。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年2月期2Q	26,067,972 株	2020年2月期	26,067,972 株
期末自己株式数	2021年2月期2Q	1,172,285 株	2020年2月期	1,175,988 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年2月期2Q	24,894,062 株	2020年2月期2Q	24,887,949 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 本資料に記載されている予想数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- (2) 本資料のサマリー情報、[添付書類] 2ページ「経営成績等の概況」及び11ページ「セグメント情報」に記載している売上高には、その他の営業収入を含めております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11
3. 補足情報	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済環境は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大による影響で急速に景気が悪化し、さらに米中貿易摩擦の激化など世界経済の不確実性も高まっております。

外食産業におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた休業要請や外出自粛による来店客数の激減などもあり各社大幅に売上高が減少し、先行きの見通せない非常に厳しい経営環境が続いております。

当社グループでも新型コロナウイルス感染症対策として、従業員のマスク着用、アルコール消毒液の店内設置、客席へのパーティションやレジ台のビニールシート設置など、徹底的な感染予防対策を実施いたしております。

このような状況の中で、当社は食の「安全・安心・健康」向上に継続して取り組んでまいりました。また、『全員参加で、更なる成長を目指そう』をスローガンに、強固な企業体質づくりとともに、企業価値向上に努めてまいりました。

コロナ禍の施策としては、お客様の消費スタイルの変化に伴いテイクアウトやデリバリー販売を強化するため、テイクアウト用商品を充実し、スマートフォンによる事前決済システムを8月より新規導入いたしました。また、ショッピングセンター内フードコート店舗にも出前代行サービスの対応可能店舗を拡大いたしました。

出退店につきましては、国内では10店舗を出店し27店舗を退店、海外では1店舗を出店し4店舗を退店いたしました。さらに、収益改善が見込めない店舗の退店等により事業の収益性を改善してまいります。

その結果、当第2四半期連結累計期間末の当社グループ合計の店舗数は、国内781店舗、海外14店舗の計795店舗（うち直営店舗578店舗、フランチャイズ店舗217店舗）となりました。

既存店の売上高につきましては、緊急事態宣言期間を中心に、店舗の臨時休業や営業期間の短縮を余儀なくされ、当社グループ全店舗計で、当第2四半期連結累計期間の既存店売上高前年比率は65.0%となりました。また、特別損失として営業店舗の減損損失16億25百万円を計上しました。さらに、繰延税金資産の回収可能性の見直し等により、法人税等調整額13億73百万円を計上いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は161億41百万円（前年同期比32.1%減）、営業損失は35億94百万円（前年同期営業利益11億15百万円）、経常損失は37億41百万円（前年同期経常利益10億52百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は69億84百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純利益4億52百万円）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

(長崎ちゃんぽん事業)

「長崎ちゃんぽんリンガーハット」では、2020年4月より夏の定番商品「冷やしちゃんぽん」にピリ辛オイルを加え、新たに辛さと旨みが味わえる夏らしい商品として販売いたしました。さらに、同年7月より、2種類の新商品「とくちゃんぽんグリーンアスパラ」「とくちゃんぽん北海道コーンバターみそ」をエリア別で期間限定販売しております。

出退店につきましては、国内では10店舗を出店し21店舗を退店、海外では1店舗を出店し4店舗を退店した結果、当第2四半期連結累計期間末の店舗数は、国内で678店舗、海外で12店舗の計690店舗（うちフランチャイズ店舗199店舗）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の既存店売上高前年比率は63.1%となり、売上高は124億15百万円（前年同期比32.8%減）、営業損失は31億42百万円（前年同期営業利益6億89百万円）となりました。

(とんかつ事業)

「とんかつ事業」では、2020年6月より夏の季節商品「梅しそ」シリーズを期間限定で販売いたしました。また、同年7月よりテイクアウト専用のお得な「丼メニュー」6種類を販売開始いたしました。

出退店につきましては、6店舗を退店した結果、当第2四半期連結累計期間末の店舗数は国内で103店舗（和食業態の長崎卓袱浜勝、とんかつ大學を含む）、海外で2店舗の計105店舗（うちフランチャイズ店舗18店舗）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の既存店売上高前年比率は73.6%となり、売上高は36億30百万円（前年同期比30.1%減）、営業損失は5億8百万円（前年同期営業利益2億75百万円）となりました。

(設備メンテナンス事業)

設備メンテナンス事業は、当社グループ内における直営店舗及びフランチャイズ店舗の設備メンテナンスに係る工事受注や機器保全などが主な事業内容であり、当第2四半期連結累計期間の売上高は9億65百万円(前年同期比12.5%減)、営業利益86百万円(同41.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ18億73百万円減少し318億43百万円となりました。これは主に繰延税金資産の取崩しによる固定資産の減少によるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ52億79百万円増加し205億25百万円となりました。これは主に長期借入金の増加によるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ71億52百万円減少し113億18百万円となりました。これは主に親会社に帰属する四半期純損失を69億84百万円計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期の業績予想につきましては、既存店売上高前年比率が、3月76.3%、4月42.9%、5月51.1%、6月71.8%、7月75.2%、8月73.3%、9月76.4%と上昇傾向にあります。国内における新型コロナウイルス感染症拡大により、緊急事態宣言が解除された今でも収束時期が不透明な状況であると認識しております。

このような状況の中で、当社はウイズコロナを踏まえた食の「安全・安心・健康」向上に継続して取り組んでまいります。

営業面では、減損損失を計上した不採算店舗の閉店を順次進めるとともに、新商品の販売促進、テイクアウト及びデリバリー商品向けに開発したテイクアウト専用ちゃんぽん麺や新型テイクアウト容器を投入し、既存店舗売上の底上げを図ります。スマートフォンによる事前オーダー・事前決済システム導入店舗や出前代行サービス対応可能店舗を引き続き拡大してまいります。また、子会社で取り扱っている冷凍商品等の増産のため、富士小山工場に外販向けの新ラインを設置するなど、新しい生活様式への対応を進めてまいります。新規出店に関しましては当面見合わせ、既存ビジネスの収益改善に集中してまいります。

経費面では、人件費に関しまして、売上規模に合わせた店舗作業時間管理を強化するとともに、自動発注システムを導入し店舗業務を効率化いたします。また、社内派遣制度を設け人員が不足する店舗をサポートし、退店により余剰となった人財の活用と残業時間の低減を図ってまいります。本部コストにつきましても、業務の見直しを行い、本部要員の減、オンライン会議を活用した出張・会議体の抑制など、コスト低減を進めてまいります。

資金面では、金融機関等との緊密な連携関係のもと、コミットメントライン及び当座貸越契約等で十分な資金調達環境を整えており、財務基盤の安定化を図りつつ、収益構造改善に努めてまいります。

以上により、2021年2月期の連結業績の見通しは、現状のコロナ禍が継続する前提で、第3四半期及び第4四半期合計の既存店売上高前年比を80%で想定した上で、売上高334億円、営業損失56億円、経常損失57億円、親会社株主に帰属する当期純損失87億円をそれぞれ見込んでおります。なお、当予想は今後の新型コロナウイルス感染症の状況によっては大きく変動する可能性があります。今後、開示すべき重要な事項が発生した場合には、速やかに業績への影響を開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,208,638	3,401,451
売掛金	1,148,959	1,030,276
商品及び製品	198,940	218,598
仕掛品	6,307	20,344
原材料及び貯蔵品	358,071	353,265
前払費用	391,407	453,676
未収入金	1,276,926	724,273
その他	188,819	243,716
流動資産合計	5,778,070	6,445,602
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,202,421	10,752,639
機械装置及び運搬具(純額)	1,393,251	1,407,538
土地	6,450,108	6,408,151
リース資産(純額)	126,953	104,968
建設仮勘定	53,643	571,435
その他(純額)	993,294	873,947
有形固定資産合計	21,219,672	20,118,680
無形固定資産		
	473,716	462,144
投資その他の資産		
投資有価証券	511,233	492,497
繰延税金資産	1,389,242	81,257
退職給付に係る資産	96,349	96,801
差入保証金	1,104,439	1,080,571
建設協力金	76,680	71,493
敷金	2,726,311	2,706,937
その他	364,043	310,508
貸倒引当金	△22,605	△22,605
投資その他の資産合計	6,245,694	4,817,461
固定資産合計	27,939,082	25,398,286
資産合計	33,717,152	31,843,889

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	958,335	956,741
1年内償還予定の社債	316,000	316,000
短期借入金	700,000	—
1年内返済予定の長期借入金	1,530,834	2,581,545
リース債務	118,476	109,105
未払金	764,096	867,939
未払費用	1,677,594	1,508,198
未払法人税等	224,189	169,796
未払消費税等	460,524	420,592
株主優待引当金	100,274	110,282
店舗閉鎖損失引当金	6,666	85,789
販売促進引当金	4,468	5,415
資産除去債務	5,004	95,778
その他	619,577	600,853
流動負債合計	7,486,042	7,828,038
固定負債		
社債	598,000	440,000
長期借入金	3,464,591	8,563,400
長期未払金	542,649	542,416
リース債務	270,586	251,047
株式給付引当金	156,351	149,629
退職給付に係る負債	787,696	823,091
長期預り保証金	391,047	381,900
資産除去債務	1,324,662	1,243,009
繰延税金負債	—	43,127
その他	224,225	259,780
固定負債合計	7,759,809	12,697,402
負債合計	15,245,851	20,525,441
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,002,762	9,002,762
資本剰余金	7,020,017	7,020,017
利益剰余金	4,908,328	△2,201,036
自己株式	△2,749,756	△2,743,297
株主資本合計	18,181,352	11,078,446
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	64,508	62,972
為替換算調整勘定	46,088	44,322
退職給付に係る調整累計額	160,274	113,628
その他の包括利益累計額合計	270,870	220,923
非支配株主持分	19,078	19,078
純資産合計	18,471,301	11,318,448
負債純資産合計	33,717,152	31,843,889

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
売上高	23,069,700	15,661,048
売上原価	7,654,214	6,144,380
売上総利益	15,415,485	9,516,668
その他の営業収入	687,660	480,483
営業総利益	16,103,145	9,997,152
販売費及び一般管理費	14,988,013	13,591,642
営業利益又は営業損失(△)	1,115,131	△3,594,490
営業外収益		
受取利息	1,936	1,724
受取配当金	7,815	7,656
未回収利用券受入益	—	11,839
受取補償金	6,814	—
その他	9,594	22,950
営業外収益合計	26,161	44,170
営業外費用		
支払利息	22,222	34,383
為替差損	14,883	22,105
リース解約損	3,469	20,832
持分法による投資損失	32,759	46,183
支払手数料	—	57,493
その他	15,419	10,608
営業外費用合計	88,754	191,605
経常利益又は経常損失(△)	1,052,539	△3,741,925
特別利益		
投資有価証券売却益	1,527	—
固定資産売却益	—	15,709
特別利益合計	1,527	15,709
特別損失		
固定資産売却損	—	1,379
固定資産除却損	49,434	35,158
店舗閉鎖損失	—	25,300
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	84,629
減損損失	154,032	1,625,237
投資有価証券評価損	7,656	—
特別損失合計	211,123	1,771,707
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	842,943	△5,497,922
法人税等	389,944	1,486,105
四半期純利益又は四半期純損失(△)	452,998	△6,984,028
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	452,998	△6,984,028

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	452,998	△6,984,028
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△69,054	△1,536
為替換算調整勘定	△3,666	△1,970
退職給付に係る調整額	△49,279	△46,645
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,518	204
その他の包括利益合計	△123,519	△49,947
四半期包括利益	329,479	△7,033,975
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	329,479	△7,033,975

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成31年3月1日 至令和元年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自令和2年3月1日 至令和2年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	842,943	△5,497,922
減価償却費	905,171	951,831
減損損失	154,032	1,625,237
のれん償却額	598	—
株主優待引当金の増減額(△は減少)	368	10,007
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	23,547	35,394
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△2,457	△451
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	—	79,123
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	△4,459
受取利息及び受取配当金	△9,751	△9,381
支払手数料	—	57,493
支払利息	22,222	34,383
持分法による投資損益(△は益)	32,759	46,183
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,527	—
投資有価証券評価損益(△は益)	7,656	—
固定資産売却損益(△は益)	—	△14,329
固定資産除却損	49,434	35,158
店舗閉鎖損失	—	25,300
売上債権の増減額(△は増加)	△276,869	118,752
たな卸資産の増減額(△は増加)	△45,436	△28,679
仕入債務の増減額(△は減少)	225,235	△2,173
未払消費税等の増減額(△は減少)	△156,394	38,166
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△832,133	201,138
その他の流動負債の増減額(△は減少)	529,846	△205,166
長期未払金の増減額(△は減少)	△3,369	△232
預り保証金の増減額(△は減少)	△6,570	△9,147
その他	△51,888	△57,567
小計	1,407,414	△2,571,337
利息及び配当金の受取額	9,751	8,709
利息の支払額	△23,815	△37,305
法人税等の支払額	△146,106	△161,662
法人税等の還付額	—	156,786
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,247,243	△2,604,809
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,813,879	△1,350,250
有形固定資産の売却による収入	—	45,832
無形固定資産の取得による支出	△100,164	△12,560
建設協力金等の支払による支出	△10,344	△9,050
建設協力金等の回収による収入	9,430	94,547
投資有価証券の取得による支出	△1,373	△1,407
投資有価証券の売却による収入	2,412	—
その他	△52,941	△36,709
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,966,861	△1,269,599

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成31年3月1日 至令和元年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自令和2年3月1日 至令和2年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	300,000	△700,000
長期借入れによる収入	2,103,000	6,940,991
長期借入金の返済による支出	△754,503	△791,471
社債の償還による支出	△158,000	△158,000
自己株式の売却による収入	8,376	6,721
自己株式の取得による支出	△493	△263
配当金の支払額	△159,120	△116,813
借入関連手数料の支払いによる支出	—	△57,493
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△62,979	△63,387
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,276,280	5,060,283
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,776	6,938
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	559,439	1,192,813
現金及び現金同等物の期首残高	1,431,619	2,208,638
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,991,058	3,401,451

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症の拡大による影響で、わが国においても緊急事態宣言が発令され、当社の事業活動にも大きな影響を及ぼしています。今後も当社の事業に影響が及ぶことが想定されますが、新型コロナウイルス感染症の広がりや収束時期の見通しにつきましては、当第2四半期の状況等を踏まえ、2021年度中にかけて影響が続くと想定を見直しました。

当社グループはこの仮定のもと、固定資産の減損会計の適用や繰延税金資産の回収可能性の判断など会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	長崎 ちゃんぽん	とんかつ	設備 メンテナンス	合計		
売上高 (注) 3						
外部顧客への売上高	18,470,454	5,192,121	94,784	23,757,360	—	23,757,360
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	1,008,835	1,008,835	△1,008,835	—
計	18,470,454	5,192,121	1,103,620	24,766,196	△1,008,835	23,757,360
セグメント利益	689,979	275,417	147,080	1,112,477	2,654	1,115,131

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,654千円には、セグメント間取引消去26,180千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△23,526千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 売上高にはその他の営業収入を含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「長崎ちゃんぽん」セグメントにおいて、当第2四半期連結累計期間中に退店が決定した店舗及び閉鎖が決定した工場に対し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は145,577千円であります。

「とんかつ」セグメントにおいて、当第2四半期連結累計期間中に閉鎖が決定した工場に対し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は8,455千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	長崎 ちゃんぽん	とんかつ	設備 メンテナンス	合計		
売上高 (注) 3						
外部顧客への売上高	12,415,927	3,630,654	94,950	16,141,532	—	16,141,532
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	870,249	870,249	△870,249	—
計	12,415,927	3,630,654	965,199	17,011,781	△870,249	16,141,532
セグメント利益 又は損失(△)	△3,142,155	△508,633	86,829	△3,563,958	△30,531	△3,594,490

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△30,531千円には、セグメント間取引消去641千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△31,172千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

3. 売上高にはその他の営業収入を含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「長崎ちゃんぽん」セグメントにおいて、営業活動から生じる損益が継続してマイナスであり、今後も収益改善の可能性が低いと判断した店舗及び当第2四半期連結累計期間中に退店が決定した店舗に対し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は1,387,192千円であります。

「とんかつ」セグメントにおいて、営業活動から生じる損益が継続してマイナスであり、今後も収益改善の可能性が低いと判断した店舗及び当第2四半期連結累計期間中に退店が決定した店舗に対し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は238,045千円であります。

3. 補足情報

フランチャイズ店舗の売上高を加味した総売上高

期別	項目	長崎ちゃんぼん事業			とんかつ事業			外販事業	その他	合計
		直営店	フランチャイズ店	合計	直営店	フランチャイズ店	合計			
2021年 2月期 第2四半期 連結累計 期間	売上高 (百万円)	10,161	3,482	13,644	3,333	713	4,046	842	144	18,677
	店舗数 (店)	491	199	690	87	18	105	—	—	795
2020年 2月期 第2四半期 連結累計 期間	売上高 (百万円)	15,609	5,715	21,324	4,824	910	5,735	607	205	27,870
	店舗数 (店)	493	202	695	93	18	111	—	—	806
対前年比率	売上高	65.1%	60.9%	64.0%	69.1%	78.4%	70.6%	138.9%	70.3%	67.0%
	店舗数	99.6%	98.5%	99.3%	93.5%	100.0%	94.6%	—	—	98.6%

(注) 当社グループはフランチャイズ事業を拡大しており、外部売上高の純粹比較ができるように、参考資料として掲示しております。

なお、連結損益計算書に記載されている売上高は、フランチャイズ店舗から受け取るロイヤリティー収入と材料等売上高を計上しているため、この表の数値とは一致いたしません。